

日本地域学会ニューズレター

平成 28 年 no. 1

平成 28 年 2 月 18 日

目 次

I. 副会長挨拶	... 2
II. 総会報告 岡山大学で開催された日本地域学会総会についての報告	... 2
III. 理事会報告 平成 27 年度第 6-7 回及び平成 28 年次第 1 回理事会	... 4
IV. 委員会報告	... 6
1. 優秀発表賞選考委員会(受賞者の紹介)	
2. 機関誌編集委員会(第 51 回についての報告)	
V. 会費納入のお願い 平成 28 年度会費請求額、会費早期納入の特典、Web 会員について	... 7
VI. 第 53 回日本地域学会年次大会(平成 28 年 10 月 8~10 日)のご案内 論文報告の募集、シンポジウムについて	... 9
VII. 論文賞の呼称について	... 10
VIII. 国際地域学会関連会議のお知らせ	... 10
IX. 学会賞候補者推薦の募集	... 10
X. 会員の移動	... 12
『地域学研究』バックナンバー申込書	... 14
正会員入会申込書	... 15

注意：平成 28 年度会費請求書が同封されています。

(納入期限 平成 28 年 3 月末日)

I. 副会長挨拶

日本地域学会
副会長 宮田 謙

4年前の12月に開催された日本地域学会理事会においてご推薦をいただき、2011・2012年、2013・2014年、2015・2016年の3期にわたり副会長を務めさせていただいております。日本地域学会会長の氷鮑揚四郎先生のご指導のもと、何とか副会長の職責を全うしている次第です。

会員の皆様をご承知のように地域科学(regional science)はアメリカで生まれた学問であり、日本では約50年前に誕生した学問です。地域科学は経済学、地理学、交通計画学、農学、都市計画学などを包括する学際的な学問です。日本地域学会は地域科学を開拓し、発展させる目的で約50年前に今野源八郎先生、米谷栄二先生、大石泰彦先生らが中心となって創設されました。現在は1000名を超える会員数を誇る学会にまでに成長いたしました。

国際的には日本地域学会は国際地域学会(RSAI, Regional Science Association International)の傘下にあります。RSAIはさらに北米地域学会(NARSC, North American Regional Science Council)、欧州地域学会(ERSA, European Regional Science Association)、環太平洋地域学会(PRSCO, Pacific Regional Science Conference Organization)の3大地域学会を傘下に持っています。これらの3大地域学会が毎年大規模なコンファレンスを実施し、新たな地域科学研究の原動力となっています。日本地域学会は環太平洋地域学会で中心的な役割を果たし、毎年多くの会員が国際学会に参加しております。北米地域学会や欧州地域学会でも日本の役割は大きく、日本地域学会の会員が積極的な発表を

行っております。

日本地域学会の長い歴史において、河野博忠先生と氷鮑揚四郎先生が国際地域学会の会長を務められたことは特筆すべきことでもあります。両先生方の会長就任により、国際地域学会での日本の存在感は著しく向上し、両先生方の貢献を鑑みKohno AwardおよびHigano Awardが創設されるに至っております。

以上、日本地域学会の国際的貢献について簡単に紹介しましたが、さらなる飛躍を目指す課題も残されております。日本地域学会は国際地域学会に対して大きな財政的貢献を果たしておりますが、国際地域学会の機関紙Papers in Regional ScienceおよびRegional Science Policy and Practiceにおける日本からの論文は必ずしも多くはありません。国際的な雑誌に多くの論文を掲載していくことが、日本地域学会のさらなる使命でありましょう。副会長として微力ながら日本地域学会の発展に尽くしていく所存です。会員皆様方のご協力をお願い申し上げます。以上簡単ではありますが私からのご挨拶とさせていただきます。

II. 総会報告

平成27年度総会が、去る平成27年10月11日13時15分より、第52回(2015年)年次大会の会場である岡山大学で開催されました。氷鮑会長(筑波大学教授)挨拶の後、同会長を議長として審議および報告が行われました。つづく学会賞授与式では、酒井泰弘委員長からの経過報告の後、氷鮑会長より受賞者に各賞が授与され、総会は無事閉会しました。当日の次第、審議及び報告の内容は以下の通りです。

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議題

- 1) 新入会員・退会希望者について

この件について水野谷総務担当常任理事より新入正会員 31 名, 退会正会員 42 名について報告があり, これを承認. この結果, 正会員 1,040 名, 法人会員 8 団体となった.

- 2) 平成 26 年度の事業報告について

この件について水野谷総務担当常任理事より報告があり, これを承認.

- 3) 平成 26 年度の収支決算について

この件について, 櫻井財務担当常任理事より, 監査が完了していることを含め報告があり, これを承認.

- 4) 平成 28 年度の事業計画について

この件について水野谷総務担当常任理事より報告があり, これを承認.

- 5) 平成 28 年度の収支予算について

この件について, 櫻井財務担当常任理事より報告があり, これを承認.

- 6) 平成 27 年度の収支予算(修正案)について

この件について, 櫻井財務担当常任理事より報告があり, これを承認.

- 7) 名誉会員について

この件について, 氷鉋会長より, 井原健雄会員, 加賀屋誠一会員, 信國眞戴会員が推薦され, これを承認.

- 8) 論文賞の呼称(大石泰彦賞)を定める規程について

この件について, 水野谷総務担当常任理事より報告があり, これを承認.

- 9) 第 53 回(2016 年)年次大会の開催地, 開催校等について

この件について, 水野谷総務担当常

任理事より, 新潟大学で行うことが報告され, これを承認.

- 10) 第 54 回(2017 年)年次大会の開催地, 開催校等の取り扱いについて

この件について氷鉋会長より, 西日本で候補を選定中であることが報告され, 今後の取り扱いについては事務局に一任することを承認.

4. 報告

- 1) 『地域学研究(45 巻)』の編集について

この件について多和田編集委員長より編集経過について報告があった.

- 2) RSAI の動向

この件について渋澤庶務担当常任理事より報告があった.

- 3) PRSCO の動向

この件について渋澤庶務担当常任理事より報告があった.

- 4) その他

5. 学会賞授与式

- 1) 選考経過報告

酒井委員長より学会賞選考委員会における選考経過について説明があった.

- 2) 第 24 回学会賞授与

氷鉋会長より以下の各賞が授与された.

功績賞: 加賀屋誠一

論文賞: なし

奨励賞: 小川健

著作賞: 田中利彦, 谷口守, 徳永澄憲, 沖山充

学位論文賞

博士: 上杉昌也, 関口達也, 星野優子

修士: 野崎乃倫子

最優秀発表賞: 吉田真悟

3) 受賞者挨拶

各賞の代表者による受賞挨拶があった。

6. 閉会の辞

Ⅲ. 理事会報告

平成 27 年度 日本地域学会 第 6 回 理事会

日 時：平成 27 年 10 月 10 日（土） 11：00－13：00

場 所：岡山大学津島キャンパス 一般教育棟 2F C24 講義室

出席者：氷鮑，宮田，萩原，水野谷，櫻井，渋澤，阿部，石橋，岡村，木南（莉），國光，近藤，斎藤，佐々木，鈴木，多和田，徳永，中山，藤岡，細江，三橋，吉田の各理事（ただし，高橋，浅見，鐘ヶ江，戸田，福井，松本，三友，柳原の各理事より委任状付託；以上理事 30 名出席）；オブサーバとして，臼井顧問，酒井学会賞選考委員長，木南（章）機関誌編集副委員長；内田，古澤の各幹事；秋山事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

水野谷総務担当常任理事より個人会員（7 名）の入会希望と，個人会員（7 名）の退会希望があった旨報告があり，これを審議した結果，総会に諮ることが諒承された。この結果，正会員 1,040 名，法人会員 8 団体となった。

2. 平成 27 年度第 52 回年次大会の運営

1) プログラムの変更

水野谷総務担当常任理事より年次大会のプログラムの変更について説明があり，これを諒承。

2) 総会式次第

氷鮑会長より総会式次第について説明があり，これを諒承。

3) その他

3. 年次大会次期開催地・開催校

木南（莉）理事より次回新潟大学の準備状況について報告があり，これを諒承。

4. 年次大会次々期開催地・開催校

氷鮑会長より立命館大学及び熊本学園大学を候補地とする提案があり，審議の結果，これを諒承。

5. その他

報告事項

1. 平成 27 年度日本地域学会第 4、5 回理事会(持ち回り)

氷鮑会長より，持ち回り理事会について報告があった。

2. 『地域学研究』第 45 巻の編集

多和田機関誌編集委員長より，『地域学研究』第 45 巻の掲載候補論文の選考結果と刊行進捗状況について報告があった。

3. RSAI の動向

氷鮑会長より，RSAI の動向について報告があった。

4. PRSCO の動向

渋澤庶務担当理事より，PRSCO の動向について報告があった。

5. その他

平成 27 年度 日本地域学会 第 7 回 理事会

日 時：平成 27 年 12 月 23 日（水・祝） 13：00－15：00

場 所：学術総合センター会議室 2 階会議室 201・202 号室

出席者：氷鮑，宮田，萩原，水野谷，櫻井，渋澤，浅見，阿部，石橋，木南（莉），國光，佐々木，鈴木，多和田，徳永，中山，藤岡，三友，柳原，吉田の各理事（ただし，高橋，鐘ヶ江，近藤，戸田，細江，松本，三橋の

各理事より委任状付託；以上理事 27 名出席）；オブサーバとして、藪田監事、白井、河野の各顧問、酒井学会賞選考委員長、木南（章）機関誌編集副委員長、小野機関誌編集委員；内田、古澤の各幹事

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

水野谷総務担当常任理事より個人会員（2 名）の入会希望と、個人会員（3 名）の退会希望があった旨報告があり、これを審議した結果、総会に諮ることが諒承された。この結果、正会員 1,039 名、法人会員 8 団体となった。

2. 第 52 回年次大会会計報告

阿部理事より年次大会の会計報告について説明があり、これを諒承。

3. 第 53 回（2016 年）年次大会準備委員会の構成

木南（莉）理事より次回新潟大会の準備状況について報告があり、これを諒承。

4. 学会賞優秀発表賞の件

酒井委員長より年次大会における優秀発表賞および最優秀発表賞の審議状況について報告があり、これを諒承。

5. 博士論文賞（田中啓一賞）呼称について

氷鮑会長より、規程通り 2016 年度を以て「田中啓一賞」の呼称を終了することについて提案があり、これを諒承。

6. 修士論文賞（熊田禎宣賞）呼称について

氷鮑会長より、規程通り少なくとも 2018 年度まで「熊田禎宣賞」の呼称を使用することについて説明があり、これを諒承。

7. 『地域学研究』の Springer 出版について

氷鮑会長より、Studies in Regional Science を 2017 年 4 月頃から Springer Japan 社から電子ジャーナルとして発行すると同時に、現在の JST 上のオンラインジ

ャーナルの地域学研究を和文誌（英文掲載可）「地域学研究」（英文標記：Chiikigakukenkyu）として継続発行することについて提案があり、今後継続審議することとなった。

8. 審査規程を改正する規程の承認

多和田機関誌編集委員長より今後の機関誌編集方針及び審査規程を改正する規程について提案があり、これを諒承。これにより、今後学術論文のジャンルを「研究論文」及び「提言」の 2 種類とすることとなった。

9. 日本地域学会ホームページリニューアルについて

水野谷総務担当常任理事よりホームページリニューアルについて説明があり、これを諒承。

10. 『地域学研究』セット販売の推進 氷鮑会長より引き続きセット販売の促進を進める旨提案があり、これを諒承。

11. 新入会員勧誘キャンペーンの推進 氷鮑会長より新入会員勧誘の現状について報告があり、引き続きキャンペーンを進めることが諒承された。

12. その他

- 1) 白井名誉会員推薦委員長より、日本地域学会名誉会員規程第 3 条第一号の適用により George Mason University の Kingsley E. Haynes 教授を名誉会員に推薦したい旨報告があり、次回総会に諮ることが諒承された。
- 2) 木南（莉）理事より、年次大会での討論内容が無断撮影されインターネット上で公開されており、今後こういった案件に対し規程による明文化等の対応が必要ではないかとの報告及び提案があった。

報告事項

1. 『地域学研究』第45巻及び46巻の編集

多和田機関誌編集委員長より『地域学研究』45巻および46巻の掲載候補論文の選考と刊行進捗状況について報告があった。

2. RSAIの動向

氷鉋会長よりRSAIの動向について報告があった。

3. PRSCOの動向

洪澤総務担当常任理事よりPRSCOの動向について報告があった。

4. その他

平成28年次 日本地域学会 第1回 理事会

日 時: 平成28年1月22日(金)17:00

議題

1. 資産評価政策学会主催 平成27年度 研究大会・シンポジウム

「家屋の固定資産税評価の現状と課題」
(仮題) 後援名義使用の件

上記後援名義使用を許可する件につき審議に付し、承認が得られた。

IV. 委員会報告

1. 優秀発表賞選考委員会

優秀発表賞選考委員会(委員長 酒井泰弘 滋賀大学名誉教授)では、第52回年次大会での発表を対象とした慎重審議により、下記の会員の方々に平成27年度日本地域学会学会賞優秀発表賞を授与する事を決定しました。また優秀発表賞選考委員会での審議は継続しており、今後、今回の優秀発表賞受賞者の中から1名の最優秀発表賞受賞者が決定される予定です。最優秀発表賞の授与式は、本年の年次大会(新潟大学)で執

り行われる予定です。

優秀発表賞:

猿爪雅治(愛知大学大学院)

主題: 日本における男女雇用差にもとづく地域生産水準に関する研究

田島 正士(滋賀大学)

主題: 「風評被害」4年間の経過分析ー福島第一原発事故による加工食品価格への影響ー

土屋 依子(首都大学東京)

主題: 東京圏の大規模戸建住宅住宅地の高齢化と人口減少問題に関する研究

高橋 楓蔭(豊橋技術科学大学)

主題: 三遠南信地域を対象とした多地域産業連関分析の応用

中山 望(豊橋技術科学大学)

主題: 原子力発電施設の空間経済効果の評価: 石川県のケース

Duong Thuy PHAM (University of Tsukuba)

主題: Current Situation and Possibilities of Rice Straw Management in Vietnam

水野 健太郎(豊橋技術科学大学)

主題: 南海トラフ巨大地震における地震情報に対する主観的信頼度変化による都市土地利用変化

Shaka Kaloma FRANCIS (University of Tsukuba)

主題: Preliminary Investigation of Appropriate Options for Leachate and Septage Treatment for the Caribbean Island of Antigua

2. 機関誌編集委員会報告

日本地域学会 第51回機関誌編集委員会

日時: 平成27年12月23日(水)

11:00-12:00

場所: 学術総合センター会議室

出席者: 委員: 多和田, 松本, 浅見, 木南(章), 氷鮑, 木南(莉), 酒井, 櫻井, 渋澤, 徳永, 藤岡, 水野谷, 三友, 吉田, 小野の各編集委員 (ただし高橋, 戸田, 細江, 近藤, 阿部の各委員より委任状付託), オブザーバとして臼井名誉会員推薦委員長. 萩原副会長, 内田, 古澤の各幹事

議題

1) 『地域学研究』第 45 巻, 第 46 巻掲載候補論文の選考

レフェリー評価に基づき第 45 巻の掲載候補論文の選考が行われた。また第 52 回年次大会の座長評価に基づき、第 46 巻掲載候補論文としての投稿を勧める対象となる発表を決定した。

2) 同上機関誌印刷方針

第 45 巻, 第 46 巻の発行計画について、多和田委員長より報告があった。

3) 『地域学研究』の Springer 出版について

学会誌を英文誌化し、Springer Japan 社からオンライン出版する案について氷鮑会長から提案があり、引き続き理事会で審議することを決定した。

4) 新編集方針 (案) 及び審査規程を改訂する規程の審議

ジャンル区分を変更する件に関して日本地域学会『地域学研究』学術論文等審査規程の改訂案, 同規程を改正する規程案, 編集方針案について審議し, 規程の附則を一部変更することを前提に承認した。

5) その他

V. 会費納入のお願い

日本地域学会会員各位

日本地域学会
会長 氷鮑 揚四郎

謹啓 貴会員におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。さて、早速ですが、同封致しました請求書の通り、日本地域学会平成 28 年度会費をご請求申し上げますので、

納入期限 平成 28 年 3 月末日

までに同封の振込用紙にてお支払いいただけますようお願い申し上げます。

なお、預金口座引落しの手続きを平成 28 年 3 月 18 日までに完了された方には、平成 28 年 6 月 27 日に請求内容にしたがって引落しを行いますのでお早めに手続きをおとり下さる様お奨め致します。また、学生会員年会費の適用には学生証 (写し) の提出が必要ですので、pdf か封書にて、学会事務局までお送りください。

何かと出費のかさむ折から誠に恐縮ですが、事務処理の円滑化および再度にわたる督促の経費節減、さらに予想されます円安傾向の為替リスク回避のため上記期限までの早期納入にご協力いただけますよう、かさねてお願い申し上げます。

敬具

1. 平成 28 年度日本地域学会会費等 (適用期間限定)

平成 28 年度 (平成 28 年 4 月 1 日 - 平成 29 年 3 月 31 日)

一般会員年会費 13,000 円

学生会員年会費 8,000 円

但し、これらの会費、購読料が適用されるのは、

a) 納入期限 (平成 28 年 3 月末日) までに上記会費を納入された日本地域学会会員の

方、

b) 平成 28 年 3 月 18 日までに預金口座引落しの手続きを完了された日本地域学会会員の方、または、

c) 4 月以降に校費（公費）から支出する事を希望し、納入期限（平成 28 年 3 月末日）までにその旨、および支払予定日を事務局に申し出た日本地域学会会員の方、に限りますのでご注意ください。

2. 会費の期限内納入の特典

外国為替市場の成り行きが不透明な事もあって、上記の金額で期限を遅れて RSAI 会費をご納入いただいても、為替差損を生じ、これを日本地域学会の一般会計が負担しなければならない危険が見込まれます。

日本地域学会理事会では、この様な事を考慮して、上記納入期限に遅れた場合には、

1) 一般会員年会費として 14,000 円を請求する

2) 学生会員年会費として 9,000 円を請求する

という事を理事会で決定致しております。この主旨をご理解いただき、会費関連の事務処理の円滑化、経費節減にご協力頂けますよう、事務局からも重ねてお願い申し上げます。

3. Web 会員

本学会機関誌『地域学研究』の電子ジャーナルを、J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）により発行しております。これにより、会員の研究成果が広く世界に向けて情報発信されております。Web 会員に登録されますと、最新の論文が電子ジャーナル（本文 PDF）として閲覧可能となります。Web 会員登録を希望される方は、学会のホームページから、電子ジャーナル

『地域学研究』個人購買者認証申込書(Web 個人会員)をダウンロードしていただき、ご記入の上、事務局までお申し込みください。

Web 会員価格（平成 28 年 4 月 1 日－平成 29 年 3 月 31 日）は以下のようになります。

1) 学会正会員である個人(Web 個人会員 A) 年会費 2,000 円

2) 学会非会員である個人(Web 個人会員 B)* 年会費 5,000 円

3) 本学会法人会員である団体もしくは機関(Web 機関会員 A) 年会費 10,000 円

4) 本学非会法人会員である団体もしくは機関(Web 機関会員 B)* 年会費 40,000 円

* Web 個人会員 B と Web 機関会員 B は、電子ジャーナル閲覧のみのサービスとなります。

4. RSAI（国際地域学会）への会員登録について

平成 23 年度から RSAI（国際地域学会）への会員登録の方法が変更になっております。従来より日本地域学会の会員は自動的に RSAI（国際地域学会）の会員として登録されておりましたが、会員の増加に伴う国際本部事務局の負担を軽減するため、会員情報を電子メールアドレスで管理する事になりました。したがって今後は、会費を納入する事に加え、電子メールアドレスを日本地域学会事務局に登録することが必要となります。今後も引き続き RSAI（国際地域学会）の会員となることを希望される会員で、電子メールアドレスを日本地域学会事務局に登録されていない方は、会費の納入に合わせて電子メールアドレスを事務局にお知らせください。また RSAI への電子メールアドレスの通知に同意されない方は、日本地域学会事務局にその旨、お知らせください。

VI. 第 53 回日本地域学会年次大会 (平成 28 年 10 月 8～10 日)のご案内

平成 28 年度 (2016 年) 日本地域学会第 53 回年次大会は、新潟大学において下記の通り開催されます。会員諸賢におかれましては、論文報告、特別セッションの編成等、奮ってご参加下さい。

記

開催日: 平成 28 年 10 月 8 日(土)～10 日(月)

開催校: 新潟大学

会場: 新潟大学五十嵐キャンパス 〒
950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050
番地

大会準備委員会: 委員長 木南莉莉 (新潟
大学教授)

セッション:

共通論題

- a) 地域経済・地域雇用
- b) 産業集積・情報
- c) 環境評価・環境政策
- d) 地域環境・地球環境
- e) 国際経済政策
- f) 交通・コミュニケーション
- g) 経済分析・モデル分析
- h) 意識分析・行動分析
- i) 地方分権・地方財政・道州制
- j) 持続可能都市・地域システム
- k) 都市再生・地域再生
- l) 沿岸域管理・海洋政策
- m) ツーリズム
- n) アジア経済

一般論題

立地、人口移動、地域経済等の地域学一
般の課題すべて

公開シンポジウム:

テーマ グローバル社会における新潟の食
料産業戦略

論文報告・特別セッション編成の募集

論文報告と特別セッションの編成を希望される方は、下記の事項を明記し、日本地域学会事務局へ e-mail で応募して下さい。応募締切は平成 28 年 5 月 31 日(火)です。なお申込書は学会のホームページからダウンロードできます。

[論文報告] 応募の必要事項

1. 論文タイトル
2. 上記が和文の場合には、同英文訳
3. 著者名、所属 (複数の場合には発表者を明記)
4. 同上英文表記
5. Abstract 和文(700 字以内)および英文 (200words 以内) の双方を提出
6. 対応責任者氏名、連絡先住所, tel, fax, e-mail アドレス等
7. 希望討論者 2 名 (会員に限る。必ずしも希望通りとならないことをあらかじめご承知おき下さい)

[特別セッション編成] 応募の必要事項

1. セッションタイトルおよびセッションの意図, 内容等の概要 (和文 300 字以内, 英文 100words 以内)
2. 座長 (1-2 名の会員) 氏名, 所属, 同英文表記
3. 1 セッション当たり 3-4 編の報告を目的に, 各論文についての上記論文報告希望に準ずるデータ。但し, 討論者は各々の論文について 1 名でも可。
4. 応募責任者氏名, 連絡先住所, tel, fax, e-mail アドレス等

論文報告等に関する問い合わせおよび応募は、次の日本地域学会事務局宛にお願いします。

以上

筑波大学生命環境系
氷鉋（ひがの）研究室内
日本地域学会事務局
〒305-8572 つくば市天王台 1-1-1
tel, fax: 029-853-7221
メールによる応募: app@jsrsai.jp
メールによる問合せ: sec@jsrsai.jp
応募申込書の入手:
http://www.jsrsai.jp/index_jap.html

年次大会の参加申込み

大会および懇親会の参加申込み方法は、次号のニューズレターおよび学会 HP にて公表する予定です。

学会 HP:

http://www.jsrsai.jp/index_jap.html

VII. 論文賞の呼称について

日本地域学会元会員である故大石泰彦氏の本学会における業績と貢献を顕彰し、かつ同氏に敬意を表わすことを目的として、論文賞を「大石泰彦賞（論文賞）」と呼称して授賞致します。大石泰彦賞（論文賞）の授賞は、2016年度第25回から2025年度第34回までの論文賞の授賞を対象と致します。

VIII. 国際地域学会関連会議のお知らせ

第14回 PRSCO Summer Institute (PRSCO 2016)が、タイのバンコクで開催されます。

PRSCO(Pacific Regional Science Conference Organization)は、日本地域学会がメインとする国際会議です。

最新の研究成果を発表する場として、広く海外研究者との交流の場としてご活用いただけます。

会員諸賢におかれましては奮ってご参加ください。

会議名：14th PRSCO Summer Institute (PRSCO 2016)

開催日：2016年6月27日(月)–29日(水)

開催地：Bangkok, Thailand

会場：バンコク市内のホテルを予定

アブストラクト提出締切：2016年2月15日

大会ホームページ：

<http://www.prSCO2016.com>

（今後、会場や登録料などの最新情報がアップデートされますので、ご注意ください）

PRSCO ホームページ：

<http://www.prSCO.info>

IX. 学会賞候補者推薦の募集

日本地域学会では、地域科学 (Regional Science) の発展に貢献する優れた会員の業績をたたえる為、日本地域学会学会賞を毎年授与しています。今年度も第25回日本地域学会学会賞授賞選考候補者の推薦の募集を行いますので、どうか奮ってご応募下さい。学会賞は以下の各賞からなります。

功績賞：地域科学の進歩および学会の運営に顕著な貢献をなした会員を表彰する。

論文賞：すぐれた研究論文によって地域科学の発展に著しく寄与し、研究業績の意義や貢献が多岐である会員を表彰する。

奨励賞：若手研究者ですぐれた研究論文を

発表した会員を表彰する。

著作賞：地域科学の発展に著しく寄与し、その意義や貢献が多岐である著作物を表彰する。

学位論文賞：本学会会員である博士または修士課程修了者がその修了要件として提出したすぐれた学位論文を表彰する。

優秀発表賞：年次大会においてすぐれた論文発表を行った会員に優秀発表賞を授与する。このうち最も優秀な論文発表を行った会員に最優秀発表賞を授与する。

功績賞・論文賞・奨励賞・最優秀発表賞受賞者には賞状とメダルが、著作賞・学位論文賞・優秀発表賞受賞者には賞状が授与されます。

第 25 回日本地域学会学会賞 授賞選考候補者推薦応募要領

◇応募期限：

1) 功績賞・論文賞・奨励賞・著作賞・学位論文賞

平成 28 年 4 月 1 日（金）（事務局必着）

2) 優秀発表賞

平成 28 年 5 月 31 日（火）（年次大会発表申し込みと同時、事務局必着）

◇応募方法：功績賞への応募は他薦のみ、優秀発表賞への応募は自薦のみですが、その他への応募は自薦、他薦を問いません。専用の応募用紙を事務局に提出して下さい。

◇推薦資格：推薦者は、日本地域学会会員であることが必要です。

◇受賞資格等：

1) 論文賞および奨励賞の表彰対象となる研究業績は、過去 2 年間（暦年）に発表したもので、その主たるものが本学会関連誌『地域学研究（Studies in Regional

Science）』および Papers in Regional Science of the RSAI に掲載されている論文であることが条件です。

2) 奨励賞の応募については、年齢がその表彰対象となるべき主たる研究業績の発表当時 35 才未満であった事が必要です。

3) 著作賞の表彰対象となる著作物については、過去 2 年以内に出版もしくは公表された研究図書であることが条件です。

4) 学位論文賞については、表彰の時点において修了後 3 年以内のもので、当該学位論文に関連した学術論文を本学会の学術セッションで発表しているか、または本学会機関誌『地域学研究』あるいはこれに準ずる専門誌に掲載または掲載可として受理されていることが条件となります。なお、年齢による制限はありません。

5) 優秀発表賞については、以下のいずれかである必要があります。①授賞対象となる論文発表の年度末において 30 歳以下である会員、②授賞対象となる論文発表時において大学院に在籍する会員、③年次大会の Early-bird Session（アーリー・バードセッション）で発表する会員であり、理事会がその表彰を適当と認めた会員。更にいずれの場合も、対象となる論文の第一著者であり、かつ年次大会当日に口頭発表を行う本人である必要があります。

◇選考方法：「日本地域学会学会賞（奨励賞・論文賞・功績賞）に関する規程」、「日本地域学会著作賞に関する規程」、「日本地域学会学会賞学位論文賞規程」、「日本地域学会学会賞優秀発表賞規程」に基づく選考委員会の審議による。決定次第、受賞者には連絡します。

◇授賞式：第 53 回年次大会における総会（平成 28 年 10 月 新潟大学）にて執り行います。最優秀発表賞については、翌年の年

次大会で執り行います。

◇応募用紙の請求：日本地域学会事務局まで賞の種別を明記してご請求下さい。優秀発表賞については、年次大会発表申込用紙中に応募欄があります。

X. 会員の移動

新入会員

正会員 30名

Ailyn Edith RojasCabrera(筑波大学生命環境科学研究科大学院生)

秋場 勝彦(青山学院大学国際政治経済学部非常勤講師)

石戸 修(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科大学院生)

上杉 昌也(立命館大学衣笠総合研究機構日本学術振興会特別研究員)

落合 里沙(豊橋技術科学大学学部生)

小美野 智紀(株式会社ドーコン東京事業部副主幹)

清野 誠喜(新潟大学農学部教授)

草処 基(東京農工大学農学研究院助教)

佐藤 佑一(中央大学大学院経済学研究科大学院生)

Shaka Kaloma Francis(筑波大学生命環境科学研究科大学院生)

Duong Thuy Pham(筑波大学生命環境科学研究科大学院生)

鈴木 羽留香(立命館大学客員研究員)

関口 達也(中央大学理工学部助教)

Senelwa Igesa Benson(麗澤大学大学院経済研究科大学院生)

高橋 楓蒔(豊橋技術科学大学学部生)

竹内 龍介(日本コンサルタンツ株式会社技術本部係長)

谷垣 雅之(大阪府立大学経済学研究科客員研究員)

知念 良之(琉球大学大学院農学研究科大学院生)

陳 璇(筑波大学生命環境科学研究科大学院生)

土屋 依子(首都大学東京大学院都市環境科学研究科大学院生)

中山 望(豊橋技術科学大学学部生)

信國 眞戴

福田 勝文(広島大学社会科学研究所特任助教)

松尾 優子(苫小牧工業高等専門学校准教授)

美濃 陽介(旭川大学保健福祉学部助教)

三穂 健太(筑波大学生命環境学群学生)

矢根 真二(桃山学院大学経済学部教授)

矢根 遥佳(大阪大学大学院国際公共政策研究科大学院生)

Le Thuan Dong(広島大学大学院国際協力研究科大学院生)

退会会員

正会員 45名

秋山 優

芥川 元志

Any Wahyuni

Amheka Adrianus

石田 直也

大島 肇

太田 和博

太田 敏澄

Odgerel Dalxhjav

Khadija Tahir Al-Kindi

片山 雄一

上遠野 武司

川島 和彦

河津 義宏

木根田 好

樹下 明

Nguyen Thi Ngoc Mai

高 林

河野 光雄

後藤 健太

駒木 泰

下田 真也

朱 峰

鈴木 則稔

高塚 創

田端 哲夫

玉井 寿樹

丁 洁璐

筒井 信之

豊田 利久

中川 智之

永松 利文

中村 中

永山 正男

西岡 久雄

根木 佐一

林 俊行

樋口 透

松行 康夫

Muralidharan, Sree Shankari

元木 悠子

山本 晋玄

Yang Wei

吉本 宜史

若井 郁次郎

会員数

個人会員 1039 名

法人会員 8 団体

『地域学研究』バックナンバー/ 定期購読申込書

宛先: 筑波大学生命環境系氷鉋研究室内
〒 305-8572 つくば市天王台 1-1-1
tel +81-298-53-7221 (fax)

日本地域学会事務局 御中

- 日本地域学会機関誌の定期購読を申込ます (16,000 円/ 年)。(PRINT ISSN: 0287-6256)
 下記のとおり, 日本地域学会機関誌のバックナンバーを申込ます。

平成 年 月 日 氏名: 印
 所属:
 住所:
 電話, fax:

記念事業セット販売					※
フルセット:『地域学会年報(1-6号)』+『地域学研究(第1-40巻)』				450,000円	
セミセット:『地域学研究(第1-40巻)』				400,000円	
				小計	円
『地域学会年報』(第1-6号)					
1号 10,300円		2号 10,300円		3号 10,300円	
4号 10,300円		5号 10,300円		6号 10,300円	
『地域学研究』(第1-19巻)					
第1巻 8,000円		第2巻 8,000円		第3巻 8,000円	
第4巻 8,000円		第5巻 8,000円		第6巻 8,000円	
第7巻 8,000円		第8巻 8,000円		第9巻 8,000円	
第10巻 8,000円		第11巻 10,000円		第12巻 10,000円	
第13巻 8,000円		第14巻 8,000円		第15巻 10,000円	
第16巻 8,000円		第17巻 10,000円		第18巻 10,000円	
第19巻 9,400円					
『地域学研究』(第20-28巻) no.1, no.2					
第20巻 no.1 9,000円		第20巻 no.2 3,500円		第21巻 no.1 10,000円	
第21巻 no.2 3,500円		第22巻 no.1 10,000円		第22巻 no.2 3,500円	
第23巻 no.1 10,000円		第23巻 no.2 3,500円		第24巻 no.1 10,000円	
第24巻 no.2 3,500円		第25巻 no.1 10,000円		第25巻 no.2 3,500円	
第26巻 no.1 10,000円		第26巻 no.2 3,500円		第27巻 no.1 10,000円	
第27巻 no.2 3,500円		第28巻 no.1 10,000円		第28巻 no.2 3,500円	
『地域学研究』(第29巻-) no.1, no.2, no.3					
第29巻 no.1 7,000円		第29巻 no.2 3,500円		第29巻 no.3 7,000円	
第30巻 no.1 7,000円		第30巻 no.2 3,500円		第30巻 no.3 7,000円	
第31巻 no.1 7,000円		第31巻 no.2 3,500円		第31巻 no.3 7,000円	
第32巻 no.1 7,000円		第32巻 no.2 3,500円		第32巻 no.3 7,000円	
第33巻 no.1 7,000円		第33巻 no.2 3,500円		第33巻 no.3 7,000円	
第34巻 no.1 7,000円		第34巻 no.2 3,500円		第34巻 no.3 7,000円	
『地域学研究』(第35巻-)I ボリューム4冊一括販売 16,000円; 8,000円/冊					
第35巻 no.1	第35巻 no.2	第35巻 no.3	第35巻 no.4		
第36巻 no.1	第36巻 no.2	第36巻 no.3	第36巻 no.4		
第37巻 no.1	第37巻 no.2	第37巻 no.3	第37巻 no.4		
第38巻 no.1	第38巻 no.2	第38巻 no.3	第38巻 no.4		
第39巻 no.1	第39巻 no.2	第39巻 no.3	第39巻 no.4		
第40巻 no.1	第40巻 no.2	第40巻 no.3	第40巻 no.4		
第41巻 no.1	第41巻 no.2	第41巻 no.3	第41巻 no.4		
第42巻 no.1	第42巻 no.2	第42巻 no.3	第42巻 no.4		
第43巻 no.1	第43巻 no.2	第43巻 no.3	第43巻 no.4		
第44巻 no.1	第44巻 no.2	第44巻 no.3	第44巻 no.4		

購入総額合計 円

※ 申込該当箇所○をする。□にはチェックする。

機関購入の場合は, 氏名, 所属に見積り, 納品, 請求書宛名機関名等を記入, 責任者押印 以上
 平成 27 年 4 月1 日改定

日本地域学会 正会員 入会申込書

20 年 月 日

日本地域学会
会長 氷鮑 揚四郎 殿

日本地域学会 会則第5条に定める正会員として下記の通り入会を申し込みます。

氏名： 印

記

ふりがな			年 月 日生	歳	※男・女
氏名			同英文 (last name, first name)		
所属先	機関名			同英文	
		(年 月より)			
	所属			同英文	
	職名			同英文	
	所在地	〒		同英文	
		電話： ()		fax: ()	
e-mail					
自宅	住所	〒 配送希望先 ※勤務先・自宅		同英文	
		電話： ()		fax: ()	
	e-mail				
学歴	年 月入学 年 月※卒業・修了・満期退学				
職歴	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
専門分野	専攻：		学位： (大学)		
	<i>Regional Science Association International (RSAI)</i> の研究領域分類 (複数回答可, 入会案内参照)				
	I. ISSUE ORIENTATION		II. THEORETICAL/METHOD-LOGICAL ORIENTATION		
	III. MODE OF ANALYSIS		IV. REGIONAL FOCUS		
所属他学会					
紹介者 (会員に限る)					印

以上 (※は該当項目に○をする)

事務局記入欄	入会承認	年 月 日 第	回理事会	退会承認	年 月 日 第	回理事会
--------	------	---------	------	------	---------	------

MEMO
